

◆◆絵本リスト・幼年童話リスト配布

「どんな本を選ばいいか迷います」という保護者の声に答え、おすすめ本のリストを編集しました。

絵本リスト「いっしょに絵本を」は、3歳くらいからのおすすめの絵本を集めています。幼年童話リスト「おはなしのとびら」は、絵本から物語へステップアップするときの指針になるものです。

親子でリストを開きながら本を選ぶ姿が図書館で見られるようになり、「子どもといっしょに選ぶのが楽しい」という声が多く聞かれます。



▲リスト片手に「どれにする？」(中山小)

絵本リストはブックセカンドで、幼年童話は就学前に一人に1冊ずつお渡ししています。

◆◆小・中学校で

子どもたちに「読む・調べる」習慣をつけるための中核施設になるのが学校図書館です。そこで、司書を各小・中学校に1人ずつ配置しました。



▲「貸してください」(中山小)

子どもたちにとって、読んだり、選んだり、調べたりするのを手伝ってくれる司書存在はとても大きなものです。司書がいつも図書館にいて、子どもたちの声に応え、支えることができます。

また、常時開館できることで、一年間を通して、計画的な図書館活動が展開できるようになりました。

学校では、司書教諭が中心になって授業に図書館を活用し、読書活動を進めます。オリエンテーションや本の選書、テーマにあわせた展示など、司書と協力して児童、生徒の関心を高める効果的な図書館運営を行っています。

授業で、学習内容に関連した本や資料を使う場合には、司書が準備等でサポートをします。本とインターネットを使った調べ学習など、効果的で幅広い「読む・調べる」授業を実践しています。

外国文化にふれる国際理解学習や、楽しく調べる「辞書引き競争」、授業の内容にあわせたブックトークなど、学校ごとに特色ある取り組みが展開されています。子ども読書の日や、秋の読書週間のイベントなども活発に行われており、図書館は児童や生徒が自然に集まってくる場所



▲本を使って調べる(名和小)

なっています。

調べ学習用の本は、小・中学校合わせて約2000冊購入しました。学校ごとに、実践にあわせた図鑑や辞典、実用書などを選書しています。

また、本の検索や貸出作業の効率化を図るため、全ての学校で図書管理の電算化作業を行いました。

統計による貸出傾向なども把握しやすくなり、子どもと本を



◀図書まつり(大山西小)